

【商業科・事務情報科】 3年次 【必修】科目 「現代社会」授業のシラバス

1 概要

教科名	公民	科目名	現代社会	単位数(コマ数)	2(70)
科目の目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
教科書(出版社)	最新現代社会 新訂版(実教出版)		副教材(出版社)	最新現代社会 新訂版 アドバンスノート(実教出版)	

2 学習の方法

(1) 予習について

授業で取り扱う前後の範囲について教科書を読んでおいてください。複数回読んでおくことが望ましいです。

(2) 授業について

一斉授業で行います。進路や理解度に応じて問題演習・ペアワーク・グループワークなどで課題の設定と追究を繰り返し行い、理解を深めます。

(3) 復習について

授業で取り扱った内容について次のように復習してください。

- ① 授業範囲について教科書を読み、重要語句を確認する。
- ② 授業でわからなかった語句、興味がわいた語句について調べる。
- ③ 教科書の図表や統計を確認する。
- ④ 授業ノートを読み返し、理解度を確認する。

予習よりも復習に時間をかけること、授業があった日にすぐ復習すること、継続することが肝要です。

〈学習アドバイス〉

- ・「なぜ？」と思うクセをつけましょう。ただ単語を覚えるのが現代社会ではありません。ある出来事の背景には必ず理由があります。それを追究する姿勢を養えば、現代社会はもとより、学習活動全般に活かされる力が身につくでしょう。
- ・新聞やニュースを見るクセをつけましょう。教科書のほとんどの語句は新聞やニュースで取り上げられているものです。インターネットも悪くありませんが、自分の興味のあることばかり調べてしまう傾向があるので注意してください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めることができる。
② 思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、それを表現することができる。
③ 資料活用の技能	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。
④ 知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄に関する知識を身につけている。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・単元テスト		小テスト	ノート	ワーク	ワークシート
観 点	割合						
① 関心・意欲・態度	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど	○	○	○	○
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
③ 資料活用の技能	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
④ 知識・理解	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題など				

〈担当者からのメッセージ〉

授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【商業科・事務情報科】 3年次 【必修】科目 「現代社会」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	・自分らしく生きる	6	・青年期の意義と青年の社会参画の在り方を理解する。	① ②	・青年期について理解し自分の人生の在り方について関心を高める事ができる。 ・自己の生き方や在り方について考え意見を表明することができる。	前期中間考查
5	・人間としてよく生きる	8	・倫理哲学を生きるにあたってどう捉えるかと日本人の精神の源流を理解する。	① ②	・倫理や哲学が社会に与えた影響を理解し自分の人生の在り方と関連づけて関心を高めることができる。 ・よく生きるとはどのようなことか自分の人生と関連させて考え意見を表明することができる。	
6	・民主社会の原理と日本国憲法	8	・立憲主義、日本国憲法、基本的人権と民主主義社会の関わりを理解する。	④	・日本国憲法を中心とした日本や世界における人権の在り方と民主主義社会の関連について理解することができる。	
7	・日本の政治機構と政治参加	8	・国民主権と議会制民主主義、日本の三権分立、地方自治の役割、選挙制度など日本の政治と国民の関わり方について理解する。	④	・日本の政治機構について理解することができる。	
8	・現代の経済社会	4	・経済の三主体、マクロ経済、企業の役割、金融の役割、財政の役割などを理解し、豊かな国民経済とは何か考える。	② ③	・経済の役割や在り方、豊かさとは何かについて考え意見を述べる事ができる。 ・経済の動きや国民生活との関連について資料をもとに考え、適切な方法で表現することができる。	単元テスト
9		8				前期期末考查
後期 10	・日本経済の特質と国民生活	10	・環境問題、消費者の在り方、労働者の権利、社会保障など人権保護に関する施策などについて理解する。	②	・現代社会の諸問題や将来の日本や世界の動向について考え意見を表明することができる。	後期中間考查
11	・国際経済の動向と国際協力	10	・国際経済のしくみ、地域経済統合の概要、グローバル化と貿易などについて理解する。	④	・国際経済のしくみや役割と日本経済との関連を理解し、グローバル化する社会での日本や国民の役割について理解することができる。	
12	・国際政治の動向	6	・現代の国際情勢、現代における紛争、国連の役割、世界的な人権保障、国際協力と日本の役割などについて理解する。	①	・国連の意義や日本の国際貢献活動について自らの課題と捉え関心を高める事ができる。	
1		2				単元テスト
		70				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用 of 技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。